新しい道を切り拓いた いわての女性たち(5)

三陸初の女性市議会議員 中 村 桂 子

1908 年(明治 41) 1 月 20 日宮古市で風呂屋を営む資産家、中村喜助の二女として鍬ヶ崎に生まれる。鍬ヶ崎尋常高等小学校を卒業後、盛岡実科高等女学校(現:岩手女子高等学校)を卒業。

桂子は若い頃から青年団に女子青年部を作るなど、婦人活動のリーダーとして沿岸地域で活躍した。地域の婦人団体や漁業組合の婦人部で会長や部長を務めるなど、地元での人望は厚かった。

1948年(昭和23)39歳の若さで宮古市議会選挙に初出馬する。時を同じくして盛岡では横田チエが盛岡市議戦に出馬し、共に当選を果たす。本県初の女性市議会議員誕生となる。

それから1966年(昭和41)2月まで、宮古市議会議員として通算19年、連続5期という長い議員生活を送ることになる。議員活動は、狭い自宅を事務所として近隣の母親たちの支援に支えられていた。

活躍は市政の場だけにとどまらず、漁業出身者ではない桂子の沿岸地域における活動が認められ、全国の都道府県で組織する「全国漁協婦人部連絡協議会」の第三代会長として、衛生管理や健康相談、がん検診、食生活改善など沿岸漁民の生活向上を目指し尽力した。また主婦を対象に洋裁科の設置や教養講座を開催し、漁家の女性たちの教養向上に努めた。また、外来船寄港の誘致のために市民の歓迎を喚起するなど、活躍の場が広い議員でもあった。

また県婦人団体連絡協議会副会長や県漁協婦人部長など、様々な組織の要職を歴任した。1967年(昭和42)全国日本社会教育功労者表彰を受賞。同年、闘病中だった乳がんのため59歳の若さで逝去。

沿岸漁民と婦人活動への志を貫き、宮古市民からの支持が途絶えることはなかったと言われている。

【参考図書】

- ・「県婦協創立 20 周年記念誌」岩手県地域婦人団体協議会 1973 年
- ・「岩手の婦人議員誌」岩手日報社 1988年
- ・「生きて耀いて」熊谷佳枝(著) 1998年

● 女性相談(本館)

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員が一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
- 相談開設時間



	10,00			17,00 20,00		
月		10:00	-	17:00		
火		10:00	200	17:00		
额		10:00			20:00	
木		10:00		en.	20:00	
宝		10:00	200	17100	1 1	

(第2 火曜日、年末年始、祝日は休み)

もりおか女性センター

管理・運営:特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

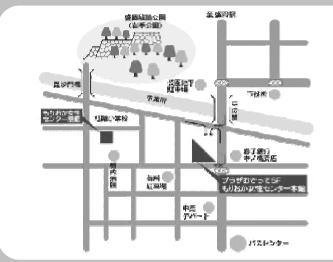
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめ ざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設 です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

■ 本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10プラザおでって5階電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750 開館時間 月曜日~金曜日9:00~21:30(土日祝17:00まで)休館日 毎月第2 以曜日、年末年始

■別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町 2-8 電話番号 (019) 624-3583 (FAX兼) 開館時間 月曜日~金曜日 9:00~21:00 休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



(バス)

盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車 本館まで徒歩3分、別館まで徒歩8分

※女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。 おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ http://mjc.sankaku-npo.jp

あとがき

- ◆女性センターフェスティバルが終わり、川向こうに見える盛岡城跡公園の樹々が、いつの間にか秋色に染まっていました。もっとゆとりをと思いつつ「不思議の国のアリス」の白うさぎよろしく余裕なく走り回っています。師走も間近、師ではないけど走りにさらに拍車が…。2011年ラストをめがけて公私ともに駆け抜けます。(Y)
- ◆女性センターの図書コーナーをよく利用するようになりました。改めて面白い本が並んでいることに気づきます。映像を見て感動するのも好きですが、活字で想像力を働かせながら読むと、感動が焼き付いて長続きするような気がします。皆さまもぜひ読書の秋をご体験ください(S)

_{ひと ひと} 一女と男、ともに参画する社会をめざしてー

もりおか女性セシター

ニュースレター

2011年 11月 No.**33**

内容

- ◎ 女性に対する暴力をなくす運動
- ◎ 起業ルームからのお知らせ
- ◎ 「フェスティバル 2011」終了報告
- ◎ 新しい道を切り拓いた いわての女性たち⑮ 「中村桂子」



発行:もりおか女性センター

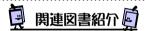


「なくそう!女性に対する暴力 2011」

運動週間: 11月11日(金)~17日(木)

内閣府の「女件に対する暴力をなくす運動」 の期間にあわせて、もりおか女性センターで は、「なくそう!女性に対する暴力 2011」 を11月11日(金)~17日(木)に開催します。

女性に対する暴力には、DV(ドメスティ ック・バイオレンス)や性犯罪、売買春、人 身取引、セクハラ、ストーカーなどさまざま あります。これは女性の人権侵害であり、犯 罪にあたります。今年度は、期間中2日間、 市内2カ所でパープルリボンプロジェクトの 街頭啓発キャンペーンを展開します。



◆「それ、恋愛じゃなくて DV です」 瀧田信之(著) WAVE 出版 2009 見えない暴力によるコントロール関係に気づか ない女性たちに向けたカップル間 DV 警告書。

◆「DVを乗り越えて」

~ここは私たちのレストラン~」 野本律子(著) 文芸社 2002

人との出会いで DV を乗り越えることができた 著者から DV 被害女性たちに贈るメッセージ本。



「女性」文材る暴力をなくす運加 週間 2011/11/12(世~11/25)余

関連図書は他にも たくさんあります。 もりおか女性センター 本館図書コーナーにぜ ひ立ち寄りください。 お待ちしています!



●起業応援ルームからのお知らせ

起業応援フォーラム2011

~女性パワーで地域を変える!~

*日時: 12 月 11 日(日) 13 時~16 時 30 分(12 時 30 分開場)

*会場:おでってホール(プラザおでって3階)

もりおか女性センター本館

*内容:WWB/ジャパン代表の奥谷京子さんの講演や、女性

起業家の活動 PR・交流会等。

*対象・定員:起業に関心のある方・50人

*申込:10月25日(金)10時から電話(624-3583)で先着

順に受付。(託児有り・定員5人・500円)

女性起業芽でる塾 ブラッシュアップ編

~食と農をつなぐ、わたしの仕事づくり~

*日時:12/18(日)、1/15(日)、2/18(土)、2/19(日)

10 時~15 時

*会場:もりおか女性センター別館及び本館

*内容:中小企業診断士の古屋由美子さんを迎え、事業計画書

作りについて学習。

*対象・定員:起業したい女性・10人

*申込: 往復はがき・E メールで受付。(12/6 必着締切)

(託児有り・定員5人・1回800円)

● 事業報告

フェスティバル 2011 終了

秋晴れの中、10月7日(金)~9日(日)の3日間に渡り、もり おか女性センターフェスティバルが本館・別館の二会場で開催 されました。講談会やコンサート、また当センターを拠点に活 動している団体の発表などの催しが行なわれ、多くの皆さまに ご参加いただきました。

神田繼音講談会

おでって会場初日は、NHK ラジオ「日曜バラエティー」レギュラ ーでお馴染みの神田織音さんの講談会を開催しました。

神田織音さんは、1999年に講談師神田 香織さんに入門した後、古典にとどまらず、 社会との関わりをテーマにした講談に取り 組まれています。

今年3月、いよいよの真打昇進。そのお 披露目の会を翌日に控えた3月11日の東 日本大震災は、神田織音さんにとっても忘 れることのできない大きな出来事となりま した。そんなエピソードからつないで語ら れた防災講談「地震災害、その時の為に」



に、客席はしんと静まり返り、真剣に聞き入っていました。

参加されたそれぞれの皆さんの心に去来したものを推し量ること はできませんが、今後もこの講談を語り継いでいこうとする神田さ んの覚悟を感じることができました。

《来場者アンケートから》

- ★防災講談。90分があっという間、神田さんの世界に引きこまれ ました。キーワードがちりばめられて、ポイントもしっかりおさ えていてすばらしいお話でした(40代女性)
- ★リアルでした。見過ごされやすい女性の視点がとても伝わって来 ました。講談は初めてですが良かったです(50代女性)

別館利用団体成果発表

日頃、別館を拠点に活動している 31 団体の演技・展示・ 茶席等の成果発表が行われ皆さんのパワーを感じ、多くの来



あんべ光俊&ジプシーバイオリン奏者 古館由佳子ジョイントコンサート♪

フェスティバル最終日は、復興コンサートを開催しました。 釜石市出身のあんべ光俊さん、宮古市出身の古館由佳子さん、二 人のアーティストが奏でる迫力のある演奏や優しい歌声に満席の会 場は魅了されました。

また、司会進行を努めてく ださった盛岡市出身の作家斎 藤純さんは、それぞれのお付 き合いの中での楽しいエピソ ードを紹介されながら、被災 地復興への気持ちをこめたコ ンサートのフィナーレへと私 たちの思いをつないでくださ いました。



《来場者アンケートから》

- ★最高でした。こんな内容の濃い、レベルの高いコンサートが盛 岡でできるなんて驚きです。古館さんの早弾きに圧倒され、あ んべさんの歌声に涙し、あっという間に終わってしまった印象 です(40代男性)
- ★被災地のことを考え、ずっと亡くなったいとこのことを考えて いましたが、いっとき心がなごみました。すばらしい企画、そ して支援し続ける女性センターさんに敬意を表します(70代女性)

起業応援ルーム「芽でるネット」ミニセミナー

起業応援ルームを一般公開し、イン ターネット体験ツアーや名刺作りミニ セミナーを開催しました。

名刺作りセミナーに参加された方か ら、自分の名刺が作れて楽しかったと ✓ いう声をいただきました。また、皆さ ん興味深くルームを見学して下さいま







絵手紙